

乳腺腫瘍の臨床病理学的な特性、診断、治療の効果・安全性に関する研究

1. 研究の対象

1962年1月～2027年12月に、当院乳腺外科で乳腺腫瘍の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

乳房内の乳腺組織には、乳がんを代表として様々な乳腺腫瘍が発生することが知られています。これらの病態解明および診断・治療法は依然として研究の余地が多くあります。本研究では、すでに当院乳腺外科で手術を受けた患者さんの、診療データを解析いたします。これによって、乳腺腫瘍に対する新たな知見を見出し、診断・治療につながることを期待されます。

研究実施期間：10年間

3. 研究に用いる診療情報の種類

診療カルテ、病理診断結果、画像診断結果、採血結果 等

4. 試料・情報の公表

本領域の医学発展への貢献を目的として、国内や国際学会での発表や論文発表を通じて公表します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院 乳腺外科

村田 健（研究事務局）

FAX 03-3542-3815 / TEL 03-3542-2511

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 乳腺外科

首藤 昭彦（研究責任者）